

編集後記

あけましておめでとうございます。
新年にあたり皆様のご多幸を祈念いたします。
表紙の写真は新春にふさわしく福岡県福津市の「宮地嶽神社の大注連縄(しめなわ)」です。直径2.5メートル、長さ13.5メートル、重さ5トンの日本一の大注連縄は神社のシンボルでもあります。
この注連縄は、3年に1度掛け替えられ約2反の御神田に、稲を生育させ、稲の発芽から注連縄の掛け替えまで、全てこの神社に縁の深い方々による奉納で、掛け替えまでには、延べ1,500人もの方々の奉仕によるものだそうです。注連縄の由来は、神話の中で天照大御神様が二度と岩戸に戻られないよう稲わらをなつて岩戸に張りめぐらせた事から始まり、陰と陽を分ける標しや聖域を囲む標しに使われてきました。お正月や祭りには家の前に張るのは、その家が神様をお迎えする為の掃除もおわり準備が出来上がっているということです。年末の大掃除を済ませ、新しい年が我が家にとって、とても素晴らしい一年になりますように願いを込めて、玄関に注連縄を飾りましょう。

発行

高藤建設株式会社 高藤元太郎
北九州市門司区東新町1-1-30
TEL093-381-0461 FAX093-381-0543
<http://takafuji.co.jp>



藤友

新年のご挨拶

謹んで新春のお喜びを申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い致します

第66期 経営方針

「たくましく」「したたかに」

1. 進化
2. 変化
3. 浄化



1、進化……諸行無常 — 常に革新を

諸行無常、森羅万象、常に現在のまま留まっていることは不可能であり、進化するか？退化するか？常に移り変わっているのです。生物に「種類」を生じたのは進化に基づくものであり、生物の形態・生態が変化・発達することであり、社会の状態にも適用している。だから企業にも存在し続けるためには、環境の変化に対応して進化せねば滅びてしまうことになります。近年の変化のスピードの速さには驚くべきものがあります。変わらなければ滅します。また進化しようと思ったら、まず自分自身が変えることが本質です。

2、変化……進化は変化

時代は大きな転換期を迎えています。相手が変わるのを待つよりも、まず自分自身が変えることが必要です。環境の変化はものすごいスピードで変わりつつあります。先行き不透明な時代は不安や不信が生じ暗い圧迫感に押しつぶされそうになりますが、世の中には不安という現実はないわけで、自分の心が作っているのです。江戸時代末期の日本が黒船の襲来に目を覚まし、やがて近代化に突き進み、明治維新の原点ともなった坂本龍馬は土佐藩を脱藩し、世界に目を向け変わっていったのです。従来の方法が一番正しいというのではなく、次の時代に目を向けて自分自身がまず変わり、企業の生き残りをかけて変化し続けることが大切です。それによってまわりに影響を与えることになります。

3、浄化……浄化し成長 — 志は高く

人の心には、誰でも「光」と「闇」の部分があり、時の流れの中にも光の時代と闇の時代がある気がします。現在は不透明な不安、不信の時といえるかもしれません。不安という現実はないのです。不安がひとり歩きをして、ますます不安がつのります。”案ずるより産むが易し”という格言はこのことを戒めているのです。暗転を光転に変えるには、常に心の浄化作用が必要です。「損か得か」「苦か楽か」「便利か不便か」「プラスかマイナスか」で選んだ人生を自分の使命と照らし合せて、生きてゆくことが大切です。企業もその使命を確認し、暗転を光転に転ずることをたくましく、したたかに実践することが本質です。

第66期経営方針
「たくましく」「したたかに」

1. 進化

諸行無常 — 常に革新を

2. 変化

進化は変化

3. 浄化

浄化し成長 — 志は高く

ゼロ災害の達成
高藤建設株式会社

北九州市優良賞

鳴水小学校大規模改修工事現場

当社が平成22年の9月に施工しました北九州市発注の鳴水小学校大規模改修工事において、北九州市工事成績評定で優秀判定を受け、市の優良業者に認定、表彰を受けました。

[担当現場代理人のコメント]

今回、鳴水小学校大規模改修工事(第1期)において北九州市より優良賞を頂くことが出来ました。工事期間中、様々な場面で社員の方々の協力があつたからだと思ひます。これからも全社一丸となつて優良企業を継続していけるよう、頑張っていきたいと思ひます。



【建設部 佐々木】



けんちく耳寄り話

伊勢神宮が世界遺産に登録されないのは、なぜ？

三重県伊勢市の伊勢神宮は、日本最古の神社であり、皇大神宮（内宮）と豊受大神宮（外宮）に分かれています。内宮、外宮とも建物の柱は堀立柱である。堀立柱という古式を守る伊勢神宮は古くから最上級の神社として崇敬をあつめてきました。それにもかかわらず、伊勢神宮はいまだに世界遺産に登録されていません。その理由は、20年に1度社殿を建て替える、日本古来の式年遷宮にあります。式年遷宮とは神様が住む神社の建物は常に清々しくあることが理想とされています。たとえ建物がまだ使える状態であったとしても、老朽化していくことは気枯れ（汚れ）であると考え、神道の精神にのっとり、定期的に建物を建て替えるのです。新しい神殿に御神体を遷すことで、神様が喜ばれると考えられています。このような式年遷宮は、住吉大社（大阪府）や香取神宮（千葉県）、鹿島神宮（千葉県）なども行われていて、島根県の出雲大社では、1809年から72年ごとに、これまで三度の造替遷宮がおこなわれました。

世界遺産の登録で何より優先されるのは、オーセンティティ（真実性）であり、これは材料そのものまで含めて、古くて信頼性があることを意味します。伊勢神宮は新しい材料で20年ごとに建て替えるため、この概念にあてはまらないこととなります。つまりオーセンティティの基準から外れているため、永遠に世界遺産のチャンスは訪れないということ。

（成美堂出版/建築のすべてがわかる本、(株)PHP研究所/違いがわかる日本の建築より）



堀立柱：土を掘りくぼめて穴をつくり、穴の底に建てた柱のこと。掘り出した土は柱の周りを固めながら埋め戻していき、建物などの基礎とすること。（Wikipediaより）



2010/12/1

目標達成祈願

12月1日、当社の期首に当たり、戸上神社にて、第66期の目標達成と工事の安全を祈願しました。

祈願後、同神社会館にて、社長から今期の経営方針の主旨公表を受け、各部門長がそれぞれの部門品質目標と選定理由の発表を行い、社員一同目標達成に向けて心をひとつにしました。



経営方針の主旨公表を行う社長



各部門の目標を発表

2010/1/1

信頼される企業めざして、危険ゼロ

新年明けましておめでとうございます。

高藤建設安全衛生協力会 会長

会員ならびに高藤建設㈱の皆様におかれましては益々ご健勝の事と、お慶び申し上げます。

また、平素より安全に御留意され、各現場に置いて無事竣工を迎えられましたのも、皆様方の安全意識の高さと、毎日の努力の積み重ねと思われます。

ここに心から敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

さて、私たち建築業界を取り巻く状況は、極めて厳しい状況にありますが、「ピンチはチャンス」という言葉もあります。

一つ一つの仕事を確実にやり信頼される企業に成る為には災害ゼロは基より、危険ゼロをめざして、より一層のご協力よろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎え、皆様方のご健勝、御多幸を祈念いたしまして年頭の挨拶と致します。



末永商事株式会社
代表取締役 末永 武豊

「ご安全に！」



小倉医師会館

発注者 社団法人北九州市小倉医師会 様
 設計監理 有限会社 大久保計画アトリエ 様
 工期 平成21年12月12日～平成22年12月11日
 規模 R C造7階建 延床面積5829.04㎡ 改修工事
 工事場所 北九州市



〈完成して一言〉

内外装及び外構の全面的な改装工事を施した築40年の建物は、すっかり化粧直しを終え、見違える程変化しました。

【建設部 和田】



旧外観



古川デンタルクリニック

発注者 古川泰之 様
 設計監理 当社
 工期 平成22年6月28日～9月30日
 規模 木造2階建 延床面積192.77㎡
 工事場所 北九州市

〈完成して一言〉

外観、内観は白を基調として外部の化粧梁・内部の床、家具を引き立たせています。閑静な住宅街の中に一際目立った歯医者さんが出来ました。

【建設部 河崎】



室町ケミカル工場

発注者	室町ケミカル株式会社 様
設計監理	当 社
工期	平成22年9月1日～11月30日
規模	鉄骨造2階建 延床面積888.12㎡
工事場所	大牟田市



《完成して一言》

本工事は、医薬品工場増設に伴う工事でした。営業されながらの工事で短工期ではありましたが、施主様のご協力を頂き工期内で無事故無災害で竣工を迎えられました。建物内のクリーンルームはご要望の試験成績をクリアすることができました。

【建設部 竹元】



サンハイツ空港通り

発注者	サンハイツ空港通り管理組合 様
設計監理	当 社
工期	平成22年10月1日～12月18日
規模	R C造5階建 延床面積2,151.5㎡外壁改修工事
工事場所	福岡市



《完成して一言》

外壁及び外周部のお色直しを行いました。工事期間中は、ご入居の皆様方のご協力により工事もスムーズに進む事ができました。いつまでも、変わらず綺麗なままでいてください。

【福岡支店 柴田】



昭和38年生



気がつけば、四回目の年男。健康に留意して今年一年、「たくましく」・「したたかに」がんばろうと思います。

社長 **高藤元太郎**



昭和26年生



大阪支店

林年数

年の数を数えて60年、「還暦」以前はお年寄りの仲間入りでしたが今はまだまだ若い働きざかり、前向きの発想で人生楽しく生きたいものです。又、人生の大半をお世話になった当社に恩返しができるよう、微力ながら貢献していきたいと思ひます。



大阪支店

秋永孝博

光陰矢の如しと言いますが、あっという間に五回目の年男になりました。無事にここまで来れたのも諸先輩、又皆様のご指導ご鞭撻の賜物と感謝しております。微力では御座いますが、健康に留意し社業発展の為努力したいと思ひます。



大阪支店

宮崎和一

私にとって人生最大の節目の年となりました。無事完走できるよう頑張ります。



購買部

田山幸聖

60歳を機に初心に返り健康に気をつけて時間を大切にしたいと思います



CS事業部

吉原幸也

光陰矢の如し、五回目の年男、兔のごとくピョンピョンとまだまだ前進あるのみ。



昭和38年生



管理部 **横山信之**

先輩、後輩に支えられおかげ様で20余年、激変の世の中、日々の努力を大切に！

昭和50年生



福岡支店 **川原正喜**

入社して二度目の年男、常に感謝の気持ちを忘れずに 何事にも全力疾走



建設部 **松瀬英克**

気づけば3度目の年男12年後、今の自分に胸が張れるよう目標を持ち
日々精進していきます



事務センター **大和朱実**

早いもので入社して二回目の年女となりました。これからも1日1日を大切に。
笑顔で毎日暮らせるよう、日々努力を惜しまず、仕事に育児に頑張りたいと思
います。



昭和62年生



大阪支店 **荒木祥匡**

入社してもうすぐ2年が過ぎようとしています。
これまで学んだことを活かしていけるように、努力を怠らず日々成長できるよう
に、一日一日を精一杯頑張っていきたい。



建設部 **井上真吾**

入社してもう1年が過ぎようとしています。
2年目からは今まで以上に充実した日々を過ごせるよう、努力をし健康・安全第一
に頑張りたいです。



管理部 **栗原京子**

入社して初めての年女を迎えました。まだまだ未熟者なので、日々成長できるよう
努力を怠らず、何事にもチャレンジしていきたいと思います。

2010/10/10～11

一緒に歩かんかね？

事務センター 座木 恵子

「一緒に歩かんかね？」と吉浦部長から、ずっと誘われていた100キロウォーク。「運動しなくちゃ・・・」、また、入社20年目の思い出に何か・・・と思い始めていた時の今回のお誘い、何か目標があればいいかも・・・今回は参加してみるか！思い出にもなるし！と一大決心。



元気いっぱいのスタート地点の9名

参加するなら一緒に歩く会社の人に迷惑はかけられない！と、決心したその日から毎日歩くことにした。夕食後の1時間ウォーキング・・・家から門司港駅までを速足で歩く。

100キロを完歩するには準備と目標。とにかく、迷惑をかけられない・・・私が参加したから、完歩できなかったと言われぬようにしなくちゃと毎日歩いた。

9月になってからは早起きをし、朝も1時間ウォーキングを始めた。事前に経験者から足のケア等のアドバイスを受けた。

そして当日。行橋を12時過ぎに出発。当社からは社長をはじめ9名（5名は初）が参加。私の場合、今まで歩いた最高距離は1日40キロ、それ以上は想像ができない、不安半分、みんなで歩く楽しみ半分。当日の私の目標はどんなに痛くても薬（鎮痛剤やシップ薬等）には頼らない、リタイヤは自分で決める、この2つ。

はじめは9名そろって歩いていたが次第に自分のペースに、楽しい会話もだんだんなくなり、歩くことが精一杯。そんな中、ふと見上げた夜空、星が降ってきそうなほど素晴らしいものだった。そんな夜空を時々眺めながら足だけは前へ前へと動かす。

後半の峠3つはなんとか通過したものの、左足の付け根がひどく痛み始めた・・・完歩しなくちゃ、ここでリタイヤしたら今まで歩いた距離が無駄になる、とにかく足を交互に前に出そうと、左足を引きづり歩く。

第3チェックポイントに着くころには、9名それぞれの顔に疲れが見えてきた。それでもそれぞれが互いを思い、励まし合いながら、残り15キロを歩き、とうとう23時間12分かけゴールした。

その瞬間「100キロ歩けた！」と涙が滲んできた。時間差はあるが9名全員完歩した。それぞれのゴールの瞬間を近くで見ながらまた涙。長い長い1日が終わった。

最後まで一緒に歩いて下さった高藤建設の8名、そして歩いている私に「がんばって！」と声をかけてくださった方、本会のスタッフ、ボランティア、少々辛口の励ましで毎日見送ってくれた父、事故や犯罪に会わないように祈ってくれたおば・弟夫婦・友達、・・・いろいろな人の想いや力がこの100キロを完歩させてくれた気がする。支えて下さった多くの方に感謝している。



完歩証明書を戴いてあーしんど

今までは100キロを歩くななんて想像できないことであり、完歩できるかという不安もあった。楽な生活に慣れている今、たまには困難に自分から向き合うこともいいかもしれないと思った。私は100キロ完歩して、体力的にもまだまだいろんなことにチャレンジできそうな気がする。また、9名が100キロ完歩という同じ目標を持ち、全員がゴールできたこと・・・気持ちが一つになれば、壁は乗り越えられる！と改めて感じ、今年はいい経験をしたなあと思っている。

あれだけ痛い思いをしても、痛みが取れた10日目あたりから、「来年もチャレンジしようかなあ」とほぼ毎日、1時間ウォーキングを続けている。



筆者感動のゴール!!